

# ヴィクトリーラン

変額個人年金保険（年金原資保証型）

Victory Run

## 特別勘定運用レポート

2025年2月発行

ソニーライフ・ウィズ生命保険株式会社は、2021年4月1日にソニー生命保険株式会社と合併いたしました。

### <特別勘定運用レポートについて>

- ・当資料は、ソニー生命のご契約者等へ変額個人年金保険の運用状況等に関する情報提供を目的として作成したものです。運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・特別勘定が投資するファンドの運用状況に関する開示情報は、当該ファンドの運用会社が作成した運用報告をソニー生命が提供するものです。
- ・生命保険の募集を目的とした資料ではありません。
- ・記載内容は、発行月の前月末時点の情報を基に作成しています。
- ・ファンド名等の表記や投資対象等は、「特別勘定のしおり」等と異なる場合があります。

## 特別勘定の種類

### ■ 運用方針

特別勘定の運用にあたっては、生命保険会社の資産の運用に関する法令・諸規則を遵守するとともに、特別勘定資産の着実な成長および中長期的観点に立った収益の獲得を目指します。

### ■ 特別勘定の種類

各特別勘定は、下記の投資信託を主な投資対象として運用を行います。

特別勘定の種類	主な投資対象とする投資信託	運用会社※1	資産運用関係費用※2 (投資信託の信託報酬)
国内株式型 (1A-1)	国内株式インデックス・ファンドV A (適格機関投資家専用)	ブラックロック・ジャパン 株式会社	年率0.0605% (税込)
海外株式型 (1A-2)	インベスコ M S C I コクサイ・インデックス・ファンド I - 3 (適格機関投資家専用)	インベスコ・アセット・マネジメン ト株式会社	年率0.264% (税込)
国内債券型 (1A-3)	日本債券インデックス・ファンドVA1 <適格機 関投資家限定>	ステート・ストリート・グローバ ル・アドバイザーズ株式会社	年率0.209% (税込)
海外債券型 (1A-4)	J D F インデックス・ファンド外国債券VA (適格 機関投資家専用)	ブラックロック・ジャパン 株式会社	年率0.11% (税込)

※1 当運用レポート作成時点において、当社との間の資本関係および人的関係はありません。

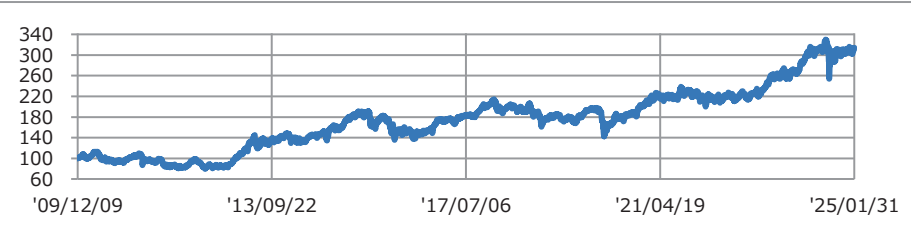
※2 特別勘定の資産運用関係費用は主たる投資対象である投資信託の信託報酬に記載しております。このほか、信託財産留保金や信託事務の処理等に要する諸費用、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映することになります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

### ■ 主な投資対象とする投資信託の投資方針

国内株式インデックス・ファンドV A (適格機関投資家専用)	この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目標として、運用を行うことを基本とします。インデックス・マザー・ファンド国内株式の受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資することがあります。
インベスコ M S C I コクサイ・インデックス・ファンド I - 3 (適格機関投資家専用)	投資信託財産の長期的な成長を図ることを目的として、積極的な運用を行うことを基本とし、MSCIコクサイ・インデックス・マザーファンドを主要な投資対象とします。
日本債券インデックス・ファンドVA1 <適格機 関投資家限定>	日本債券インデックス・マザーファンドに投資することにより、中長期的にわが国の債券市場（NOMURA-BPI総合指数）の動きに連動した投資成果の獲得をめざして運用する事を基本とします。
J D F インデックス・ファンド外国債券VA (適格 機関投資家専用)	この投資信託は、先進国債券インデックス・マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目標として、運用を行うことを基本とします。なお、有価証券等へ直接投資する場合があります。

【特別勘定名】国内株式型（1A-1）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ ユニットプライス

2025年1月末
313.79

最高値	最低値
'24/07/11	'12/06/04
329.86	79.42

■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
0.03%	2.62%	-0.40%	8.81%	213.79%

■ 設定日

2009年12月9日
------------

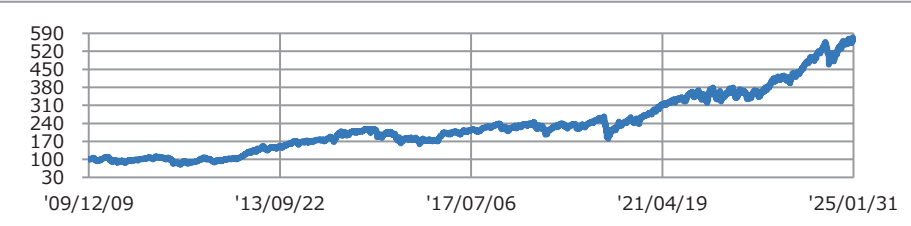
■ 資産状況

	残高(百万円)	構成比
投資信託	27	95.00%
現預金等	1	5.00%
合計	29	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】海外株式型（1A-2）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ ユニットプライス

2025年1月末
565.45

最高値	最低値
'25/01/24	'11/10/04
573.93	79.07

■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
0.12%	4.19%	10.43%	23.28%	465.45%

■ 設定日

2009年12月9日
------------

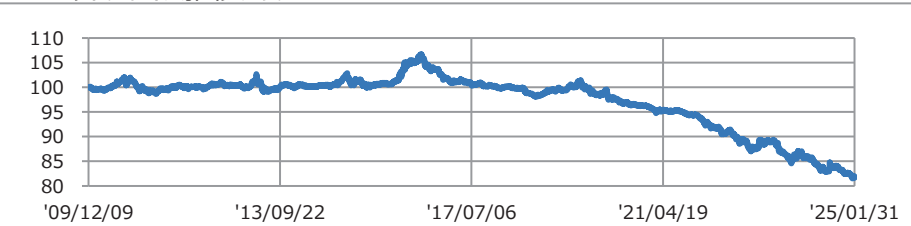
■ 資産状況

	残高(百万円)	構成比
投資信託	27	96.39%
現預金等	1	3.61%
合計	28	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】国内債券型（1A-3）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ ユニットプライス

2025年1月末
81.66

最高値	最低値
'16/07/06	'25/01/15
106.75	81.52

■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
-0.86%	-1.94%	-1.57%	-4.69%	-18.33%

■ 設定日

2009年12月9日
------------

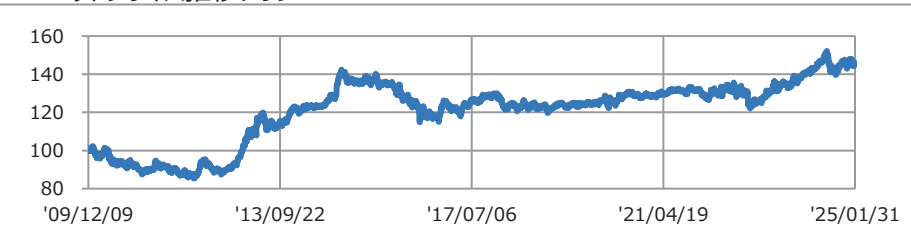
■ 資産状況

	残高(百万円)	構成比
投資信託	63	94.98%
現預金等	3	5.02%
合計	66	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

【特別勘定名】海外債券型（1A-4）

■ ユニットプライス推移グラフ



■ ユニットプライス

2025年1月末
144.81

最高値	最低値
'24/07/11	'12/01/10
152.19	85.34

■ 騰落率

1か月前	3か月前	6か月前	1年前	設定来
-2.06%	-1.33%	-0.17%	3.40%	44.81%

■ 設定日

2009年12月9日
------------

■ 資産状況

	残高(百万円)	構成比
投資信託	63	96.32%
現預金等	2	3.68%
合計	66	100.00%

※残高は単位未満を切り捨て、構成割合は小数第3位を四捨五入して表示しています。

※ 本書面のユニットプライスの表示は、資産運用関係費用・保険関係費用（積立金比例）控除後です。  
 ※ ユニットプライスは、小数第8位まで算出しておりますが、ここでは小数第3位以下を切り捨てて表示しています。  
 ※ 騰落率は、ユニットプライスを元に「騰落率 = { (終了日の価格 - 開始日の価格) ÷ 開始日の価格 } × 100」と計算し、小数第3位以下を切り捨てて表示しています。

## 【特別勘定名】

国内株式型（1A-1）

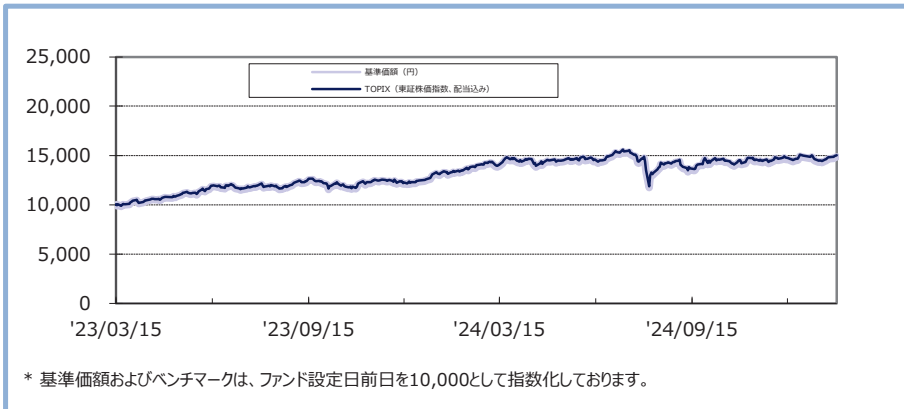
## 【特別勘定が投資する投資信託】

国内株式インデックス・ファンドV A（適格機関投資家専用）

## 【運用会社】

ブラックロック・ジャパン株式会社

## ■ 基準価額の推移



## ■ 基準価額

14,854 円

## ■ ファンド概要

設定日	2023/3/15
純資産総額	77.9億円

## ■ ベンチマーク

東証株価指数（TOPIX）

## ■ 運用方針

- 主としてわが国の証券取引所に上場されている株式に投資を行い、わが国の株式市場全体の長期的成長をとらえることを目標に、TOPIX（東証株価指数、配当込み）に連動する投資成果を目指して運用を行います。
- 「インデックス・マザー・ファンド国内株式」（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券を主要投資対象とします。
- マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持する事を基本とします。

## ■ 騰落率（%）

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	設定来
ファンド	0.13%	3.61%	0.94%	11.75%	48.54%
ベンチマーク	0.14%	3.63%	0.95%	11.88%	50.21%
差	-0.01%	-0.02%	-0.01%	-0.13%	-1.67%

\* 基準価額は信託報酬控除後の値です。

\* 基準価額およびベンチマークはファンド設定日前日を10,000として指数化しております。

\* 基準価額の推移および騰落率は分配金（税引前）を再投資したと仮定して算出しております。

\* TOPIX（東証株価指数）は、日本の株式市場を広く網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。

\* TOPIXの指数値およびTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

## ■ 組入状況

## 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.97%
2	三菱UFJフィナンシャルG	銀行業	3.15%
3	ソニーグループ	電気機器	2.98%
4	日立	電気機器	2.59%
5	リクルートホールディングス	サービス業	2.21%
6	三井住友フィナンシャルG	銀行業	2.00%
7	キーエンス	電気機器	1.69%
8	任天堂	その他製品	1.62%
9	みずほフィナンシャルG	銀行業	1.45%
10	東京エレクトロ	電気機器	1.40%

## 組入上位10業種

	業種	比率
1	電気機器	17.82%
2	銀行業	9.09%
3	輸送用機器	7.58%
4	情報・通信業	7.54%
5	卸売業	6.50%
6	機械	5.60%
7	サービス業	5.19%
8	化学	4.96%
9	小売業	4.58%
10	医薬品	4.26%

## ■ 運用会社のコメント

1月の国内株式市場において、TOPIX（東証株価指数、配当込み）は、前月末比0.14%上昇しました。月初の株式市場は、長期金利が上昇する中、弱含んで始まり、インフレ懸念が残る米国の株価が冴えなかった影響がありますが、米国株が上昇に転じた中旬に為替が円高に振れたことも、日本株が米国株に出遅れる原因となりました。それでも、17日に中国の実質GDPが5%の目標を達成し、欧州の株価が堅調な動きを見せて以降は、日本株も下値を切り上げる展開となりました。20日のトランプ米大統領就任後、ソフトバンクグループや、オラクル、オープンAIが共同で大規模なAI投資を発表し、ソフトバンクG株が急騰したほか、半導体や電線株などに買いが広がりました。下旬には日銀が政策金利を0.5%程度とする利上げを行いました。株価には織り込み済みでした。また、月末には中国の低コストAI「DeepSeek」が注目され、日本でもAI関連株が売られましたが、日本株市場全体は月末まで底堅い動きが続きました。

□ 本資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、ブラックロック・ジャパン株式会社（以下、「弊社」という。）が当ファンドの運用状況を受益者の皆様へ情報提供する目的で作成したもので、その取得を勧誘するものではなく、また、本資料記載の個別有価証券の売買等の行為を勧誘するものではありません。

□ 本資料は、弊社が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に掲載された弊社及びブラックロック・グループ（以下、「ブラックロック」という。）の意見、見解は、本資料作成日時点におけるものであり、今後、予告なく変更されることがあります。本資料に掲載された過去の実績及び今後の予測は、なら将来の成果を保証または示唆するものではありません。

□ 本資料の使用権は、弊社またはブラックロックに帰属し、全部または一部であっても、無断でこれを複製・転用することは社内用、社外用を問わず許諾されていません。

□ 本ファンドおよびマザーファンドの基準価額は組入れた株式やその他の有価証券等の値動き等により変動します。委託会社の指図による行為によりファンドに生じた損益はすべて投資者に帰属し、元本が保証されているものではありません。

□ 本投資信託は、私募投資信託です。一般投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。

## 【特別勘定名】

海外株式型（1A-2）

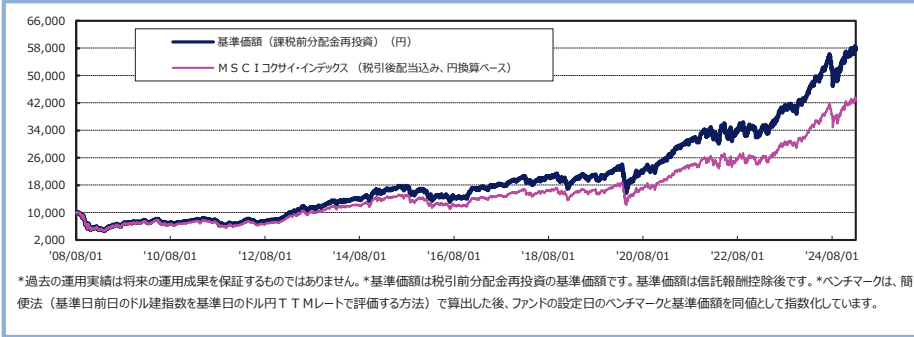
## 【特別勘定が投資する投資信託】

インベスコ MSCコクサイ・インデックス・ファンド I - 3

## 【運用会社】

インベスコ・アセット・マネジメント株式会社

## ■基準価額の推移



## ■基準価額

57,736円

## ■ファンド概要

設定日	2008/8/1
純資産総額	28(百万円)

## ■ベンチマーク

MSCIコクサイ・インデックス  
(税引後配当込み、円換算ベース)

## ■運用方針

マザーファンドへの投資を通じて世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。グローバルな収益機会を最大限に追求するため、ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックスに連動した投資成果を目指します。

## ■騰落率（%）

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	設定月来
ファンド	0.18%	4.76%	11.90%	26.70%	478.11%
ベンチマーク	0.21%	4.83%	12.09%	27.09%	331.24%
差	-0.03%	-0.07%	-0.19%	-0.39%	146.87%

\*ファンドの騰落率は、税引前分配金再投資により算出しています。信託報酬控除後のリターンです。  
\*ベンチマークの累積リターンは、ファンドの基準価額算出方法と同一基準（基準日前日の各外貨建資産を基準日の各通貨毎のTTMLレートで評価する方法）で月次ベースでのみ算出しています。尚、2009年5月1日より日次ベースでの算出に変更しています。  
\*設定来騰落率は、設定日の月末を基点として算出しています。  
\*当ファンドのベンチマークは設定日から2023年10月5日までは「MSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース）」、2023年10月6日以降は「MSCIコクサイ・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）」に変更しています。主な変更点は「配当なし指数」から「配当込み指数」への変更です。本資料のベンチマークは両指数を指数化し、結合したものを掲載しています。

## ■組入状況

## 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率
1	APPLE	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.96%
2	NVIDIA	半導体・半導体製造装置	4.22%
3	MICROSOFT	ソフトウェア・サービス	4.04%
4	AMAZON.COM	一般消費財・サービス流通・小売り	3.06%
5	META PLATFORMS-A	メディア・娯楽	2.09%
6	ALPHABET INC-CL A	メディア・娯楽	1.64%
7	TESLA	自動車・自動車部品	1.60%
8	ALPHABET INC-CL C	メディア・娯楽	1.42%
9	BROADCOM	半導体・半導体製造装置	1.33%
10	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	1.07%

\*業種はベンチマークで採用している分類に準じています。  
\*比率はマザーファンドの純資産総額対比で計算しています。

## 組入上位5カ国構成

1	アメリカ	73.50%
2	イギリス	3.48%
3	カナダ	2.98%
4	フランス	2.66%
5	スイス	2.29%

## 組入上位5業種構成

1	情報技術	24.17%
2	金融	15.69%
3	一般消費財・サービス	10.23%
4	ヘルスケア	10.19%
5	資本財・サービス	9.47%

## ■運用会社のコメント

## 米国

1月の米国株式市場は上昇しました。月初、12月の米雇用統計が堅調で米国債利回りが上昇したこと、株価の割高感が意識されたことなどが嫌気され、株式市場は上値の重い展開となりました。しかしながらその後は、中国のAIベンチャー「DeepSeek」の低コストで高性能な生成AIモデルの発表を受け、AI関連銘柄が一斉に下落する局面もありましたが、12月の米消費者物価指数（CPI）でインフレ再加速の懸念が後退したこと、12月の米小売売上高が年末商戦を背景に堅調だったこと、米金融大手等の2024年10-12月期の決算が好調だったことなどを背景に、株式市場は上昇して越月しました。

## 欧州

1月の欧州主要株式市場は上昇しました。大陸欧州では、月初から月央にかけて、原油価格上昇によりエネルギー関連株式が押し上げられたこと、欧州のラグジュアリーブランド企業の決算が市場予想を上回ったことなどが好感され、株式市場は堅調に推移しました。その後、トランプ米大統領が欧州に対する関税引き上げを表明しなかったこと、欧州中央銀行（ECB）が追加利下げを行ったことなどを背景に、月を通してみると株式市場は上昇しました。英国では、月央までは株式市場は上値が重い展開となりました。しかしながら、その後、イングランド銀行（BOE）による追加利下げ観測が高まったことなどをを受け、株式市場は続伸し、月を通してみると株式市場は上昇しました。

## アジア

1月のアジア主要株式市場は概ね上昇する展開となりました。香港株式市場は、米トランプ大統領の就任初日に警戒されていた対中関税の発動がなかったこと、中国のAI企業DeepSeekが開発したAIモデルへの期待が好感され、上昇しました。オーストラリアでは、1月の雇用統計で就業者数が予想以上に増加したことを受け、株式市場は上昇しました。日本では、月後半に日銀の追加利上げにより円高が進行したこと、DeepSeekによるAIモデルが半導体関連企業の脅威になるとの懸念が高まったことなどを背景に、TOPIXが小幅に上昇し、日経平均株価が下落する展開となりました。

本書はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社またはインベスコのグループ会社が行う投資について適格機関投資家を限定とした情報提供資料および販売用資料です。本書は信頼できる情報に基づいて作成されたものであり、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。本書で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と重要な差異が生じる可能性もあります。ポートフォリオ特性値、組入れ銘柄などは、あくまで過去の一時点におけるデータに過ぎず、将来のポートフォリオが同様の傾向、組入れを継続する保証はございません。  
本書について事前の許可なく複製、引用、転載、転送を行うことを禁じます。



## 【特別勘定名】

国内債券型（1A-3）

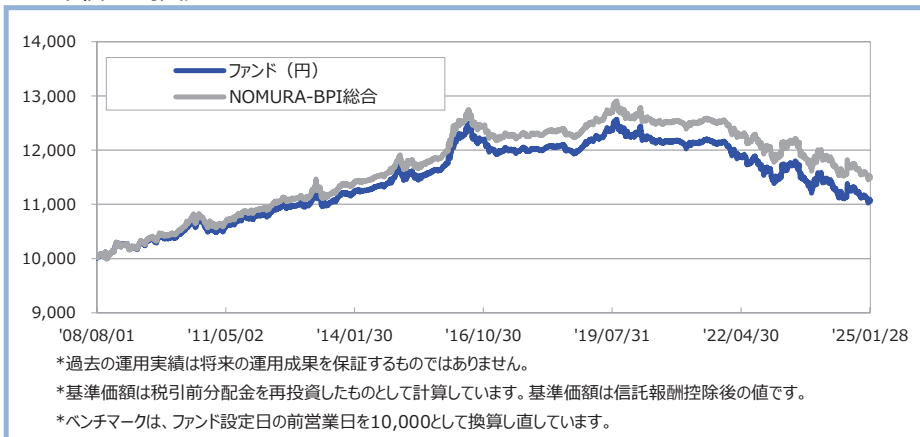
## 【特別勘定が投資する投資信託】

日本債券インデックス・ファンドV A1 &lt;適格機関投資家限定&gt;

## 【運用会社】

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

## ■ 基準価額の推移



## ■ 基準価額

11,052円

\* 基準価額は信託報酬控除後です。

## ■ ファンド概要

設定日	2008/8/1
純資産総額	0.64億円

## ■ ベンチマーク

NOMURA-BPI総合

## ■ 運用方針

・Nomura-BPI総合に連動する投資成果を目指します。  
 ・わが国の（円建て）公社債等を主要投資対象とする、「日本債券インデックス・マザーファンド」受益証券を主な投資対象とします。  
 ・マザーファンドの債券実質組入れ比率は原則として高位を保ちます。

## ■ 騰落率（%）

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	設定来
ファンド	-0.75%	-1.58%	-0.73%	-3.15%	10.52%
ベンチマーク	-0.74%	-1.54%	-0.61%	-2.95%	14.82%
差	-0.02%	-0.04%	-0.12%	-0.21%	-4.30%

\* ファンドの騰落率は、税引前分配金を再投資したものと計算しています。信託報酬控除後のリターンです。  
 \* 設定来とは、設定日を起点として計算した騰落率です。

## ■ 組入状況

## 組入上位10銘柄

	銘柄	クーポン	償還日	比率
1	第361回利付国債（10年）	0.10%	2030/12/20	1.99%
2	第1回クワイエット・トラッキング利付国債（10年）	0.70%	2033/12/20	1.72%
3	第363回利付国債（10年）	0.10%	2031/6/20	1.40%
4	第151回利付国債（5年）	0.01%	2027/3/20	1.32%
5	第346回利付国債（10年）	0.10%	2027/3/20	1.18%
6	第347回利付国債（10年）	0.10%	2027/6/20	1.10%
7	第344回利付国債（10年）	0.10%	2026/9/20	1.03%
8	第360回利付国債（10年）	0.10%	2030/9/20	1.00%
9	第168回利付国債（5年）	0.60%	2029/3/20	0.89%
10	第350回利付国債（10年）	0.10%	2028/3/20	0.88%

\* 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

## 債券種別資産構成比率

	比率
国債	82.9%
地方債	5.8%
政府保証債	1.4%
金融債	0.3%
事業債	6.9%
円建外債	0.9%
MBS債	1.8%
コール・その他	0.0%
合計	100.0%

\* 資産担保証券（ABS）は事業債に含まれています。

## 格付け

	比率
AAA	2.1%
AA	93.2%
A	4.7%
BBB	0.0%
BB 以下	0.0%
利回り・残存年限	
平均複利利回り	1.24%
平均クーポン	1.01%
平均残存期間	10.47
修正デュレーション	8.61

## ■ 運用会社のコメント

1月の国内債券市場は、インフレ懸念後退を受けた米長期金利の低下や中国の生成AIの台頭懸念を受けたりリスク回避の動きが債券の買い材料となりましたが、日銀の追加利上げ観測や米連邦準備理事会（FRB）が今後の利下げに慎重姿勢を示したことを受けて債券が売られました。日本10年国債利回りは前月末から0.15%上昇の1.25%となりました。

・当ファンドは値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元金が保証されているものではありません。  
 ・本資料は、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社（以下「弊社」とします）が当ファンドの情報提供を目的として作成したものであり、投資の勧誘を目的とするものではありません。また、将来予告なしに変更する場合がございます。  
 ・過去の実績に関する数値・データ等は将来の結果をお約束するものではありません。また、市場概況等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。

## 【特別勘定名】

海外債券型（1A-4）

## 【特別勘定が投資する投資信託】

J D F インデックス・ファンド外国債券VA（適格機関投資家専用）

## 【運用会社】

ブラックロック・ジャパン株式会社

## ■ 基準価額の推移



## ■ 基準価額

17,638 円

## ■ ファンド概要

設定日	2007/3/30
純資産総額	25.8億円

## ■ ベンチマーク

F T S E 世界国債インデックス  
(除く日本、国内投信用円ベース)

## ■ 運用方針

- 先進国債券インデックス・マザーファンドの受益証券への投資を通じて、日本を除く先進国の国債等を主要投資対象とし、F T S E 世界国債インデックス（除く日本、国内投信用円ベース）に連動する運用成果を目指します。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

\* 基準価額は信託報酬控除後の値です。

\* 基準価額およびベンチマークは、ファンド設定日前日を10,000として指数化しております。

\* 基準価額の推移および騰落率は分配金(税引前)を再投資したと仮定して算出しております。

\* ベンチマークはF T S E 世界国債インデックス（除く日本、国内投信用円ベース）です。基準価額算出基準を考慮し、営業日前日の各外貨建て資産を営業日当日の各通貨TTMレート（対顧客電信売買相場仲値）で評価した値を用いて算出しています。

\* F T S E 世界国債インデックス（除く日本、国内投信用円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

## ■ 騰落率（%）

	直近1ヵ月	直近3ヵ月	直近6ヵ月	直近1年	設定来
ファンド	-2.02%	-1.04%	0.64%	5.41%	76.38%
ベンチマーク	-2.08%	-1.06%	0.61%	5.43%	81.90%

## ■ 組入状況

## 国別組み入れ比率

	銘柄	比率
1	米国	47.0%
2	中国	11.3%
3	フランス	7.1%
4	イタリア	6.6%
5	ドイツ	5.6%
6	その他	21.2%
7	キャッシュ等	1.2%

## 通貨別組み入れ比率

	通貨	比率
	米国・ドル	47.5%
	ユーロ	29.3%
	中国・人民元	11.5%
	英国・ポンド	5.1%
	カナダ・ドル	2.0%
	その他	4.7%

## 組入資産別構成

	資産	比率
	債券	98.8%
	キャッシュ等	1.2%

## 平均残存年数・修正デュレーション（年）

平均残存年数	8.42
修正デュレーション	6.34

\* 国別組み入れ比率、通貨別組み入れ比率、組入資産券種別構成はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

\* 平均残存年数・修正デュレーション（年）はマザーファンドの数値です。

## ■ 運用会社のコメント

1月の米国債券市場は、2日の新規失業保険申請件数低下、7日のJOLTS求人数の上昇及びISM非製造業景況指数の上振れ等を受け、米金利は上昇しました。更に10日には非農業部門雇用者数の予想からの上振れや失業率の低下と堅調な雇用統計の結果を背景に、米金利は大幅に上昇し、翌14日には10年金利は4.81%まで到達しました。その後、トランプ次期米政権が関税の引き上げについて段階的な引き上げを検討との報道や、米PPIの下振れ等を受け米金利の上昇が抑えられました。20日にトランプ氏は大統領に就任し、カナダ・メキシコに対し25%の関税導入計画を発表した一方、世界規模での関税の具体案発表は見送られました。更に22日に中国・EUへの関税発動計画を発表しました。27日にはDeepSeekが低コストで生成AIを開発したことを受けたAI関連株値暴落で、米金利は低下しました。29日のFOMCでは政策金利は据え置きとなりました。米金利は緩やかに低下し、1月末の米10年債利回りは、4.57%（12月末と同水準）、2年債利回りは4.24%（12月末と同水準）で終わりました。欧州債券市場は、3日に発表された失業率が低下したことを受け欧州金利は上昇しました。また、8日には独製製造受注・独小売売上高の大幅な下振れにも関わらず、堅調な米経済指標の結果を受け欧州金利も上昇しました。14日には仏バイル首相の年金制度改革や財政赤字削減のコメントを受け欧州金利は一段と上昇しました。しかし15日に米CPIの鈍化の影響で欧州金利も低下し、17日には仏内閣不信任案が否決され、当面の政治的安定が好感され欧州債は買い基調となり欧州金利は低下しました。30日には仏・独・ユーロ圏第4四半期GDPが揃って予想を下振れ、ECBは25bpsの利下げを行いました。1月末の独10年国債利回りは2.46%（12月末より0.09%上昇）、2年債利回りは、2.12%（12月末より0.04%上昇）で終わりました。

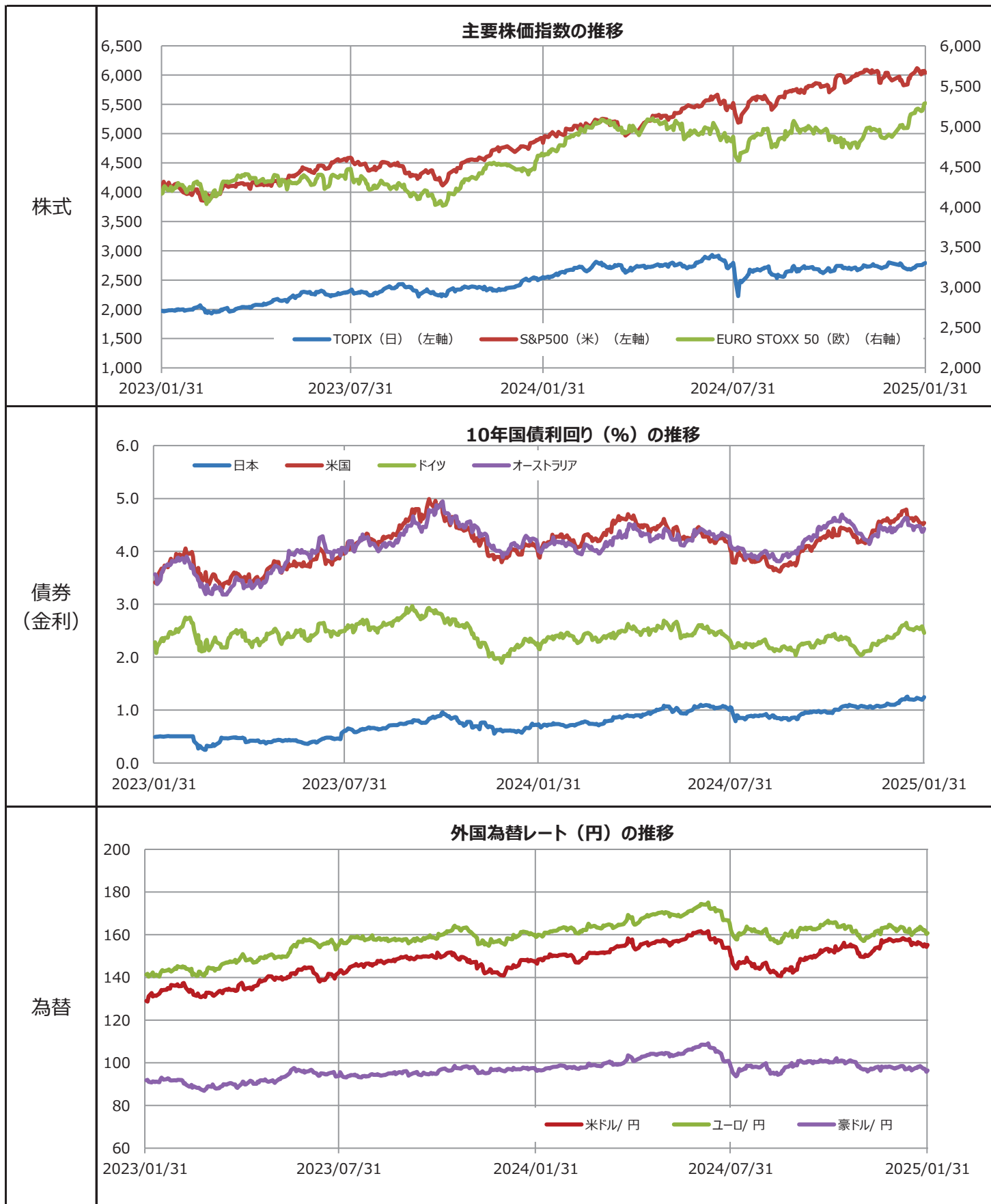
□ 本資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、ブラックロック・ジャパン株式会社（以下、「弊社」という。）が当ファンドの運用状況を受託者の皆様へ情報提供する目的で作成したもので、その取得を勧誘するものではありません。また、本資料記載の個別有価証券の売買等の行為を勧誘するものではありません。

□ 本資料は、弊社が信用に足ると判断した情報・データに基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に掲載された弊社及びブラックロック・グループ（以下、「ブラックロック」という。）の意見、見解は、本資料作成日時点におけるものであり、今後、予告なく変更されることがあります。本資料に掲載された過去の実績及び今後の予測は、なんら将来の成果を保証または示唆するものではありません。

□ 本資料の使用権は、弊社またはブラックロックに帰属し、全部または一部分であっても、無断でこれを複製・転用することは社内用、社外用を問わず許諾されていません。

□ 本ファンドおよびマザーファンドの基準価額は組入れた株式やその他の有価証券等の値動き等により変動します。委託会社の指図による行為によりファンドに生じた損益はすべて投資者に帰属し、元本が保証されているものではありません。

□ 本投資信託は、私募投資信託です。一般投資家の皆様は、当該投資信託を直接購入することはできません。



※当ページに記載している各指数などのグラフについては、Bloombergのデータに基づき当社が作成したのですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、資料中のデータは過去の実績であり、将来の市場動向または運用成果等を予測または保証するものではありません。



ご留意いただきたい事項

■ 投資リスクについて

当商品は、投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資され運用実績に基づき、積立金額、将来の年金額、死亡給付金額および解約返戻金等が変動します。資産運用の成果はご契約者に帰属しますが、一方で株価や債券価格の下落・為替の変動等による投資リスク（価格変動リスク、金利変動リスク、為替変動リスク、信用リスク等）を負うこととなりますので、積立金額、将来の年金額、解約返戻金額等が一時払保険料を下回る可能性があります。よって、資産運用の成果とリスクがともにご契約者および受取人に帰属することとなります。

■ 諸費用について

当商品にかかる諸費用は下記のとおりです。なお、下記内容は将来変更される可能性があります。ご契約時にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
契約初期費用	ご契約の締結等にかかる費用です。	一時払保険料に対して5.0%	特別勘定への繰入れ前に、一時払保険料から差し引きます。

据置期間中にご負担いただく費用

項目	目的	費用	時期
保険関係費用	ご契約の締結・維持等に必要な費用、年金原資および死亡給付金を最低保証するための費用です。	据置期間10年型	
		保険関係費用（積立金比例） 積立金額に対して年率1.75%	積立金額に対して左記の年率の1/365日を乗じた額を毎日の積立金から差し引きます。
		保険関係費用（基本給付金額比例） 基本給付金額に対して年率1.20%	基本給付金額に対して左記の年率の1/12か月を乗じた額を契約日の月単位の応当日の前日の積立金から差し引きます。
		据置期間15年型	
		保険関係費用（積立金比例） 積立金額に対して年率1.75%	積立金額に対して左記の年率の1/365日を乗じた額を毎日の積立金から差し引きます。
		保険関係費用（基本給付金額比例） 基本給付金額に対して年率1.00%	基本給付金額に対して左記の年率の1/12か月を乗じた額を契約日の月単位の応当日の前日の積立金から差し引きます。
資産運用関係費用※ （投資信託の信託報酬）	特別勘定の運用に関わる費用で、特別勘定で主に利用する投資信託の信託報酬等が含まれます。	各特別勘定において主に利用する投資信託により異なりますので、詳細は、P1「特別勘定の種類」をご参照ください。	各特別勘定において主に利用する投資信託の純資産総額に、特別勘定ごとに設定された資産運用関係費用の年率を日割り毎日差し引きます。

※ 特別勘定の資産運用関係費用は主たる投資対象である投資信託の信託報酬を記載しております。このほか、信託財産留保金や信託事務の処理等に要する諸費用、監査費用等がかかる場合がありますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、特別勘定のユニットプライスに反映することとなります。したがって、ご契約者にはこれらの費用を間接的にご負担いただくこととなります。資産運用関係費用は運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

年金支払期間中にご負担いただく費用（一時払定額年金への移行による年金支払を行う場合および遺族年金支払特約による年金支払を行う場合を含む）

項目	費用	時期
年金管理費用	支払年金額に対して、年金の受取通貨が円の場合は0.25%、米ドルまたは豪ドルの場合は0.50%（2024年4月現在） （商品によって、選択できる通貨は異なります。）	年金支払開始日以後、年金支払日に保険料積立金から差し引きます。

ご注意：年金管理費用は、年金支払開始日（一時払定額年金への移行による年金支払の場合は移行日、遺族年金支払特約による年金支払の場合は年金基金設定日）に定める率を適用するため、将来変更する可能性があります。

■ その他のご留意事項

- \* 変額個人年金保険（年金原資保証型）「ヴィクトリーラン」は、当社を引受保険会社とする生命保険商品です。預金とは異なり元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- \* このレポートは特別勘定の運用状況を開示するためのものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- \* ご検討にあたっては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」を必ずお読みいただき、内容を十分にご理解ください。ご契約に際しては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」「特別勘定のしおり」を必ずご確認ください。
- \* この保険は、変額保険販売資格をもった担当者がお取り扱いします。

<募集代理店>

<引受保険会社>

ソニー生命保険株式会社

〒100-8179 東京都千代田区大手町1-9-2  
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ

ホームページ [www.sonymlife.co.jp/](http://www.sonymlife.co.jp/)

担当者の身分・権限等についてのお問い合わせは下記のフリーダイヤルをご利用ください。

〈カスタマーセンター〉 ☎0120-955-900

個人情報の保護に関する法律の定めに基づき、契約内容に関するお問い合わせは保険契約者ご本人様からお願いしております。なお、お問い合わせの際は、保険証券などの「証券番号」が分かるものをご用意ください。

ZARV2502